



おひさまきらきら えがおいっぱい なんざんようちえん

港区立南山幼稚園 NANZAN Kindergarten

9月 園だより

平成29年9月1日

園長 小久保 篤子



〒106-0046

港区元麻布 3-8-15

(3408) 4785

ホームページ : Nanzan-kg.

minato-tky.ed.jp

好奇心や探究心を育む

こくぼ とくこ
園長 小久保 篤子

8月末の2日間、夏季保育がありました。子どもたちは、プール遊びのほか、民族打楽器に触れて遊ぶふれあいアート、スライム作り、フィンガーペインティングなどを楽しみました。この体験を通して、子どもたちはスムーズに2学期がスタートできるものと考えています。

9月は、秋の虫たちが顔を出す季節です。トンボ、バッタ、コオロギ…都会の中にある幼稚園ですが、限られた自然環境の中で何が顔を出すか楽しみです。虫たちとの関わりを通して、子どもたちは様々な経験をします。捕まえようとしても、なかなかうまく捕まえられませんが、動いている虫を捕まえるには、あれこれ思考を働かせなければなりません。虫の形、色、匂い、大きさなどに関するやりとりも活発になります。そして、捕まえない一心から始まった虫探しも、やがて「飼う」「飼えない」という虫の命の存在にも触れます。幼稚園教育の中で、自然は、子どもたちの好奇心や探究心をそそる、なくてはならない環境の一部です。

「セレンディピティ」という言葉があります。辞書によると「偶然に思いがけない幸運な発見をする能力」とあります。偶然というと、行き当たりばったりのように思われがちですが、子どもたちは、うまく自分なりのセンサーを働かせて、様々な自然との偶然の出会いを楽しんでいるのではないかと考えています。そのような時、一緒に「なんだろう？」と思う気持ちに寄り添い、「きれいだね」「不思議だね」と興味をもち、子どもたちの気付きや発見に共感する大人の存在はとても意味があります。秋の南山の森、都立六本木高校の畑などに計画的に出かけ、子どもたちの好奇心や探究心を育む体験を大切にしていきます。

2学期も、園生活の充実に努めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

夏季保育の様子

先生たちによる不思議な水のマジックショー



4・5歳児は、自分たちでスライム作り



3歳児は、フィンガーペインティング遊び

